

株式会社タムラ製作所



証券コード:6768



代表取締役社長 田村 直樹

休主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚く御礼申 し上げます。

ここにタムラグループの2016年度(第94期) 第2四半期株主通信(2016年4月1日から2016年9月30日まで)をお届けし、営業の概況、当社の取り組み、ならびに決算の概況をご報告させていただきます。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援、 ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

(営業の概況

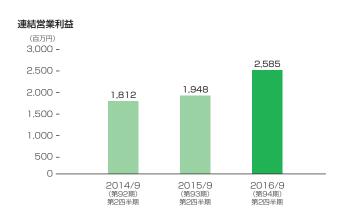
1 当第2四半期の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、急激な 為替変動などの不安定要素が継続して影響すると共に、日本経済も景気の足踏み傾向が続きました。当社グループに 関わるエレクトロニクス市場も、各種製品が力強さを欠く 推移となりました。

S HIGHLIGHTS



(注) 1. 各セグメントの外部顧客に対する売上高(セグメント間の内部売上高を除く)を表示しております。
2. 連結売上高合計には、その他事業(運輸・倉庫等)が含まれております。



このような厳しい経営環境下ではありますが、当社グループでは、収益性の向上を第一の目標とする中期経営計画のもと、お客様への価値ある「オンリーワン製品」の提供、きめ細やかな個別原価管理、グローバル拠点における生産効率改善などの取り組みを進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の 状況といたしまして、円高の影響もあり売上高は404億9 千7百万円(前年同四半期比3.0%減)と減収となりまし たが、営業利益は25億8千5百万円(同32.7%増)と増 益となりました。また、為替差損の影響などにより、経常 利益は20億9千3百万円(同8.5%増)、親会社株主に帰 属する四半期純利益は13億9千2百万円(同13.0%増) となりました。

2 通期業績予想

2016年5月に公表いたしました業績予想を修正しております。これは、昨今の円高の進行を踏まえて売上高を修正し、また、第2四半期までの営業外損益における為替差

損の発生などを踏まえて経常利益、親会社株主に帰属する 当期純利益についても修正したものであります。

従前に公表しておりました業績予想は為替レートを1ドル115円で想定しておりましたが、今回は1ドル100円で見直しております。

なお、当期の中間配当金は1円増額の1株当たり4円とさせていただきました。期末配当予想は、期初予想と変わらず1株当たり4円としております。

売上高	800 億円	(前期比 5.5%減)
営業利益	45 億円	(前期比 5.5%増)
経常利益	40 億円	(前期比 1.8%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	27億円	(前期比 51.4%増)





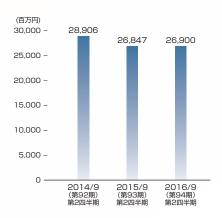
POWER REPORT

電子部品関連

電子部品関連事業では、エアコン関連が猛暑予想に伴う増産や顧客開拓により堅調に推移し、LED関連では自動販売機向けモジュールの売上が拡大しました。また、前連結会計年度に実施した構造改革や為替対策、原価低減活動により収益向上を図り、中国エリアをはじめとした工場の収益性も改善しております。

その結果、売上高は 269 億 6 百万円(前年同四半期比 0.2%増)、 セグメント利益は 14 億 2 千 3 百万円(同 417.6%増)と、増収かつ 大幅増益となりました。

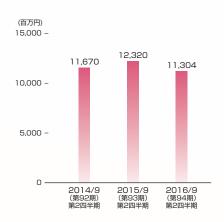
連結売上高 (電子部品関連)※



電子化学実装関連

電子化学実装事業は、市場の停滞及び円高の影響で全般に力強さを 欠いております。そうした中でも、夏場よりスマートフォン新モデル 向けのフレキシブル基板用ソルダーレジストの生産が上向きで推移 し、自動車やスマートフォン向けのデュアルリフロー装置は比較的堅 調に推移しておりますが、売上高は113億4千2百万円(前年同四 半期比8.6%減)、セグメント利益は12億5千3百万円(同21.9%減) と、減収減益となりました。

連結売上高 (電子化学実装関連)*



- ※ 1. 売上高については、文中はセグメント間の内部売上高を含めており、グラフは外部顧客に対する売上高(セグメント間の内部売上高を除く)を表示しております。
 - 2. セグメント利益は、セグメント間取引消去及び本社部門負担の未来開発研究費用控除前の営業利益と調整を行っております。

情報機器関連

情報機器関連事業では、引き続き音声卓(ミキサー)のフラッグシップモデル "NTシリーズ"のキー局・地方局への納入が堅調に続いておりますが、前連結会計年度に拡大したセキュリティ関連機器の需要は一巡して減少いたしました。

その結果、売上高は 22 億 7 千 5 百万円 (前年同四半期比 11.5%減)、 セグメント利益は 2 億 1 千 1 百万円 (同 41.9% 減) と、減収減益と なりました。



Topics Heyda

HVDC (高圧直流送電用) 可飽和水冷リアクタ



風力・太陽光等により発電された電気をより効率的 に運ぶために利用される直流送電システムには、直流 変換装置が必要となります。

大容量かつ高電圧のため、使用されるリアクタも巨大なものとなり、装置自体を大きくする要因になりますが、タムラでは、リアクタの巻き線部分をパイプ状の管のように加工し、その中に水を通しながら冷やす直冷式を採用することで、お客様の仕様に合わせたリアクタの小型化を実現しました。



HVDC(高圧直流送電用) 可飽和水冷リアクタ

特集 No.1

事業の系譜とコア技術

歴史に培われた技術力光りつづける

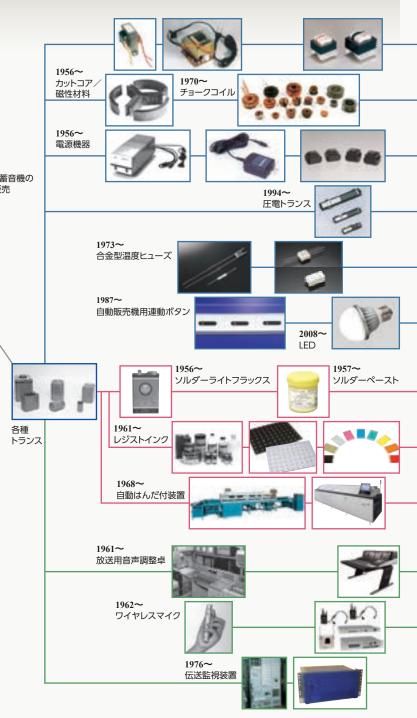
1924~ ラジオ、蓄音機の 製作・販売 1930~ トランスの自作化 ピルトライト

HISTORY

日本でラジオ放送が始まる1年前の1924(大正13) 年、当社の前身である「田村ラデオ商会」が創業しました。ラジオ修理、さらにオリジナルのラジオ作りを行う中で、「良い音」の追求から、その鍵となるトランスの製作を手掛けるようになり、「トランスのタムラ」としての礎を築きました。

その後、トランスを軸とした各種電子部品、良いトランスを作る良い接合材料への追求からフラックスやはんだ材料、はんだを接合するためのはんだ付装置、さらには放送用・通信用トランスの実績から放送用音声機器・通信機器へとその業容を拡げてまいりました。

現在では、電子部品、電子化学実装、情報機器の3つの事業分野で、環境やエネルギーなど新たな市場のニーズに応える製品の開発、供給に努めています。



PRODUCTS

電子部品

各種トランス インダクタ リアクタ チョークコイル 雷流センサ

ACアダプタ・バッテリーチャージャ

雷源モジュール

産業機器用電源装置

圧電セラミックス製品

温度ヒューズ 抵抗器

LED関連製品 自動販売機関連製品

電子化学実装

ソルダーペースト ポストフラックス 導電性接合材

ソルダーレジスト(リジット基板用・フレキシブル基板用) OSP(プリフラックス)

白色反射材、黒色吸収材、透明絶縁材

リフローはんだ付装置 ウェーブはんだ付装置

スプレーフラクサ他周辺機器

情報機器

放送用音声調整卓 その他音声関連機器

ワイヤレスインターカム ワイヤレスマイクロホン

通信ネットワーク機器 セキュリティ関連機器 各種OEM製品

CORE TECHNOLOGY

パワーソリューション

- ■ダストコア素材開発と量産化技術
- ■温度保護素子開発と量産化技術
- ■電磁界、熱、構造の各解析(シミュレーション)技術
- ■高効率低ノイズ電源技術
- ■大電流トランス巻線技術
- ■環境対応技術
- ■高信頼規格(JAXA・MIL規格等)適応技術

圧電セラミックス

- ■材料開発・プロセス技術
- ■素子設計技術・解析技術
- ■圧電素子の制御技術

LED・半導体デバイス

- ■LEDパッケージング技術 ■単結晶基板育成技術
- ■防水技術
- ■熱設計・解析技術
- ■光学設計・解析技術
- ■高効率反射処理技術
- ■高品質エピ成膜技術
- 高効率・高出力LED製造 ■照明設計技術

電子実装プロセス/プリント配線板材料/半導体実装材料

- ■材料と設備一体の製品開発とコラボレーション
- ■樹脂設計・合成技術(感光性樹脂・熱硬化性樹脂・熱可塑性樹脂)
- ■金属粉末作製技術
- ■はんだ接合技術
- ■光硬化技術
- ■熱硬化技術
- ■環境対応技術(鉛フリー化対応、ハロゲンフリー化対応)
- ■リフロー加熱技術
- ■ソルダリング技術
- ■ウェーブはんだ付技術
- ■熱制御技術
- (窒素)雰囲気制御技術

情報機器

- ■音声処理技術
- ■デジタル信号処理技術
- ■音響技術
- ■高周波技術
- ■無線技術
- ■高密度実装技術
- ■サラウンド音響技術

特集 No.2 製品紹介

夕社 一公ラのテク ジーえるる

タムラの製品は「材料」「部品」「装置」として、 自動車や電子機器など身近な製品から製造現場 の装置や自然エネルギー分野、さらには宇宙ま で、さまざまな産業や社会インフラを支えていま す。素材からシステムまで、タムラのテクノロ ジーは人々の暮らしの安全・快適や省エネル ギーの実現に貢献しています。

航空・宇宙で

航空機からロケット・人工 衛星まで、究極の耐環境性 で社会に貢献しています。

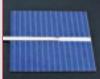


風力: 太陽光発電で

再生可能エネルギーの発 電効率向上などに寄与する



大型トランス・リアクタ



導電性接合材



白色反射材



駅で

発着案内などの情報伝達 手段として、音声・表示で 鉄道運行を支えます。







工場で

ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に 欠かせない装置が活躍しています。







電子部品

電子化学実装

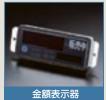
情報機器



はんだ付装置

街の自動販売機で

表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動 など最新機能を実現します。





商品選択ボタン

放送局で

視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内連絡用の 無線システムです。





デジタルワイヤレスインカム

エコカーで

高信頼・高効率な部品・材料で、 エコドライブや安心・安全を支え ます。







車載用リアクタ・コイル

温度ヒューズ付抵抗器/ メタルクラッド抵抗器





ソルダーペースト

スマートフォンや タブレットPCで

多機能化・小型化する機器 の進化を支える材料です。





家庭で

リアクタ

省エネに寄与し、機器の安全を守る部品です。

エアコンやパワコンで使用され、



温度ヒューズ/ 温度ヒューズ付抵抗器 導電性接合材





(連結財務諸表

円高の影響もあり売上高は減収ながら、営業利益・経常利益は増益。

#114	H_{IJ}	

四半期連結貸借对照表	音 对照表		
	前期末 (第 93 期) 2016年3月31日現在	当第 2 四半期末 (第 94 期) 2016年9月 30 日現在	
資産の部			
流動資産	51,647	48,882	
現金・預金	15,133	16,836	
受取手形・売掛金	21,518	19,514	
たな卸資産	12,532	10,505	
その他	2,463	2,026	
固定資産	25,141	23,381	
有形固定資産	19,003	17,526	
無形固定資産	1,195	1,016	
投資その他の資産	4,941	4,838	
資産合計	76,788	72,264	
負債の部			
流動負債	26,017	21,442	
支払手形・買掛金	10,844	9,583	
短期借入金・1 年内返済長期借入金	10,357	7,356	
その他	4,815	4,502	
固定負債	14,322	16,518	
長期借入金	9,421	11,819	
その他	4,901	4,698	
負債合計	40,339	37,960	
純資産の部			
株主資本	35,939	37,035	
資本金	11,829	11,829	
資本剰余金	17,036	17,036	
利益剰余金	7,356	8,446	
自己株式	△ 283	△ 277	
その他の包括利益累計額	313	△ 2,918	
その他有価証券評価差額金	155	28	
繰延ヘッジ損益	0	_	
為替換算調整勘定	2,351	△ 959	
退職給付に係る調整累計額	△ 2,194	△ 1,987	
新株予約権	120	127	
非支配株主持分	75	59	
純資産合計	36,448	34,303	
負債純資産合計	76,788	72,264	

四半期連結損益計算書

畄位	五万田

	前第2四半期 連結累計期間 (第93期) 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 (第94期) 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
売上高	41,731	40,497
売上原価	30,038	28,339
販売費及び一般管理費	9,744	9,572
営業利益	1,948	2,585
営業外収益	300	237
営業外費用	319	729
経常利益	1,929	2,093
特別利益	70	2
特別損失	149	133
税金等調整前四半期純利益	1,851	1,962
法人税、住民税及び事業税	616	502
法人税等調整額	3	71
四半期純利益	1,231	1,389
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,232	1,392

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間 (第93期) 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 (第94期) 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,492	4,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 974	△ 478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,641	△ 512
現金及び現金同等物四半期末残高	13,354	16,791

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (2016年9月30日現在)

■ 社 名 株式会社タムラ製作所

■ 英文社名 TAMURA CORPORATION

■ 設 立 1939年11月21日

■ 資 本 金 11,829百万円

■ 従業員数 連結 5,237名 単独872名

■ ホームページ アドレス http://www.tamura-ss.co.jp/

■ 本 社 東京都練馬区

事業所 埼玉県(坂戸市・入間市・児玉郡・狭山市)

■ 役 員

取締役上席執行役員

田村 直樹 代表取締役計長 常勤監查役 久保 肇 浅田 昌弘 守屋 宏一 取締役専務執行役員 監査役 取締役常務執行役員 李 国華 監査役 戸田 厚司 取締役 上席執行役員 清田 達也 取締役 石川 重明 上席執行役員 舞木 孝一郎 取締役上席執行役員 南條 紀彦 執行役員 末田 直一 取締役上席執行役員 齋藤 彭— 執行役員 柴田 誠治

橋□ 裕作

株式の概況 (2016年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 ……………… 252,000,000 株

■ 発行済株式の総数 ……………82,027,782 株 (自己株式 743,691 株を除く)

■ 株主数 …………………10,456 名

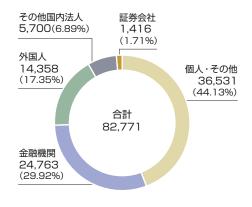
■ 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
株 主 右 	持株数 (千株)	持株比率
CBNY- GOVERNMENT OF NORWAY	3,617	4.40%
タムラ協力企業持株会	3,416	4.16%
株式会社三井住友銀行	3,200	3.90%
株式会社みずほ銀行	2,799	3.41%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,590	3.15%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,429	2.96%
株式会社りそな銀行	1,911	2.33%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIC	1,644	2.00%
三井住友信託銀行株式会社	1,412	1.72%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,299	1.58%

■ 所有者別株式分布状況 (単位: 千株)

執行役員

小波藏 政玄



(注) 持株比率は、自己株式 743,691 株を除いて算出しております。

(注) 自己株式 743,691 株 (0.90%) は個人・その他に含まれております。

休主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公 告 方 法 電子公告(http://www.tamura-ss.co.jp

/jp/finance/index.html)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号 事務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(**郵便物送付先**) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 500 0120-782-031

(インターネット) http://www.smtb.jp/personal/agency/in-ムページURL index.html

【特別口座について】

特別口座の 三井住友信託銀行株式会社または

□ 座 管 理 機 関 三菱 UFJ 信託銀行株式会社

(ご注意)

当社は平成23年8月1日付で株式会社光波を株式交換により完全子会社化しておりますが、同社株式を保有されていた株主様の内、特別口座に記録された株式の特別口座の口座管理機関は三菱UFJ信託銀行株式会社となりますので、ご留意ください。

【株式に関するお手続きについて】

- 1. お受け取りがお済みでない配当金を受け取るお手続き 三井住友信託銀行株式会社までお申し出ください。
- 2. その他のお手続き
 - (1) 証券会社に口座をお持ちの場合:お取引きの証券会社へお申し出ください。
 - (2) 証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座で管理されている場合):右記お問い合わせ先へお申し出ください。

(お手続きの例)

ご住所を変更される場合

今後の配当金のお受け取り口座のご指定をされる場合 単元未満株式の買取・買増のご請求をされる場合など

単元未満株式の買取・買増請求について

証券取引所で売買できない、1,000 株未満の株式(単元未満株式)については、買取・買増のご請求により整理することができます。

- 単元未満株式の買取請求(当社に株式の買取りをご請求いただき、1,000株単位としていただく方法)
 - (例) 株主様のご所有の 1,500 株のうち、当社が 500 株を買い取ります。
 - → 株主様のご所有の株式は 1,000 株となります。
- 単元未満株式の買増請求(当社から株式を買い増して 1,000株単位としていただく方法)
 - (例) 株主様のご所有の 1,500 株に加え、当社から 500 株を 買い増します。
 - → 株主様のご所有の株式は 2,000 株となります。

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社

〒 168-0063 東京都杉並区和泉二丁目 8 番 4 号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031

三菱 UFI 信託銀行株式会社

〒 137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番 11号

三菱 UFI 信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711

株式会社タムラ製作所

http://www.tamura-ss.co.jp/

当冊子に関するお問い合わせ先:

〒 178-8511 東京都練馬区東大泉一丁目 19 番 43 号 TEL 03-3978-2111



